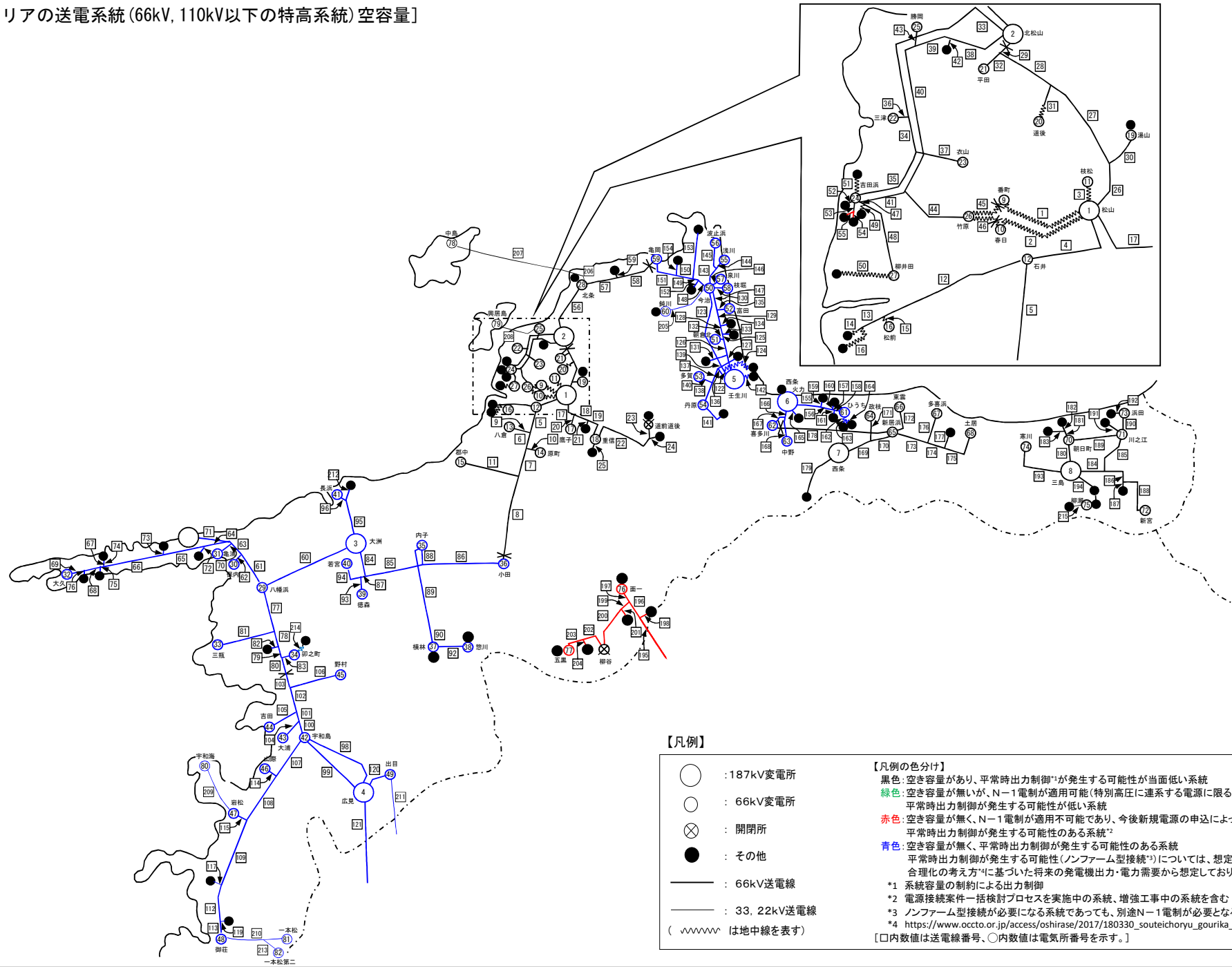


[四国エリアの送電系統(66kV, 110kV以下の特高系統)空容量]



【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
 ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 1回線送電線のため
 #2 1バンク変電所(分割運用含む)のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
 #5 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
 * https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (7) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (8) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (9) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (10) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
1	松山番町線	66	2	62	31	熱容量	31	31	可	31	-	-	-	※1
2	松山春日線	66	2	62	31	熱容量	31	31	可	31	-	-	-	※1
3	枝松線	66	2	62	31	熱容量	31	31	不可 #1	-	-	-	-	※1
4	石井連絡線	66	4	500	375	熱容量	358	358	可	125	-	-	-	※3
5	松山線	66	2	272	136	熱容量	129	129	可	136	-	-	-	
6	松山線	66	2	132	66	熱容量	59	59	可	66	-	-	-	
7	松山線	66	2	132	66	熱容量	66	59	可	66	-	-	-	
8	松山線	66	2	84	42	熱容量	42	42	不可 #5	-	-	-	-	※1
9	八倉支線	66	2	182	91	熱容量	90	90	可	91	-	-	-	
10	原町支線	66	2	98	49	熱容量	41	41	可	49	-	-	-	※1
11	郡中支線	66	2	140	70	熱容量	70	59	可	70	-	-	-	
12	需要家線	66	2	250	125	熱容量	115	115	可	125	-	-	-	
13	需要家線	66	2	158	79	熱容量	69	69	可	79	-	-	-	
14	需要家線	66	2	-	-	熱容量	33	33	-	-	-	-	-	◇

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
15	松前支線	66	2	132	66	熱容量	65	65	可	66	-	-	-	
16	需要家線	66	2	-	-	熱容量	19	19	-	-	-	-	-	◇
17	畑寺線	66	2	250	125	熱容量	89	89	可	125	-	-	-	
18	畑寺線	66	2	250	125	熱容量	87	87	可	125	-	-	-	
19	畑寺線	66	2	166	83	熱容量	56	56	可	83	-	-	-	
20	鷹子支線	66	2	158	79	熱容量	79	79	可	79	-	-	-	
21	電源線	66	1	-	-	熱容量	30	30	-	-	-	-	-	◇
22	重信線	66	2	72	36	熱容量	12	12	不可 #1	-	-	-	-	※1
23	重信線	66	2	64	32	熱容量	7	7	不可 #1	-	-	-	-	※1
24	需要家線	66	1	-	-	熱容量	42	12	-	-	-	-	-	◇
25	需要家線	66	2	-	-	熱容量	13	13	-	-	-	-	-	◇
26	北松山連絡線	66	2	394	197	熱容量	192	192	可	197	-	-	-	
27	北松山連絡線	66	2	394	197	熱容量	197	192	可	197	-	-	-	
28	北松山連絡線	66	2	394	197	熱容量	195	192	可	197	-	-	-	
29	北松山連絡線	66	2	394	197	熱容量	197	192	不可 #5	-	-	-	-	※1
30	湯山線	66	1	42	42	熱容量	31	31	不可 #1	-	-	-	-	※1
31	道後支線	66	2	96	48	熱容量	48	48	可	0	-	-	-	
32	平田支線	66	2	182	91	熱容量	89	89	可	91	-	-	-	
33	吉田浜北線	66	2	250	125	熱容量	110	110	可	125	-	-	-	
34	吉田浜北線	66	2	330	165	熱容量	148	110	可	165	-	-	-	
35	吉田浜北線	66	2	158	79	熱容量	50	50	可	79	-	-	-	
36	三津支線	66	2	84	42	熱容量	42	42	可	42	-	-	-	※1
37	衣山支線	66	2	250	125	熱容量	125	110	可	125	-	-	-	
38	吉田浜南線	66	2	394	197	熱容量	174	174	可	197	-	-	-	
39	吉田浜南線	66	2	394	197	熱容量	177	174	可	197	-	-	-	
40	吉田浜南線	66	2	330	165	熱容量	146	146	可	165	-	-	-	
41	吉田浜南線	66	2	158	79	熱容量	49	49	可	79	-	-	-	
42	需要家線	66	1	-	-	熱容量	32	32	-	-	-	-	-	◇
43	勝岡支線	66	2	120	60	熱容量	55	55	可	60	-	-	-	※1
44	竹原支線	66	2	190	95	熱容量	95	95	可	95	-	-	-	
45	番町線	66	1	36	36	熱容量	36	36	不可 #1	-	-	-	-	※1
46	春日線	66	1	36	36	熱容量	36	36	不可 #1	-	-	-	-	※1
47	柳井田線	66	2	158	79	熱容量	72	72	可	79	-	-	-	
48	柳井田線	66	2	158	79	熱容量	79	72	可	79	-	-	-	

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
49	電源線	66	1	—	—	熱容量	13	13	—	—	—	—	—	◇
50	需要家線	66	1	—	—	熱容量	42	42	—	—	—	—	—	◇
51	需要家線	66	1	—	—	熱容量	42	42	—	—	—	—	—	◇
52	需要家線	66	1	—	—	熱容量	32	32	—	—	—	—	—	◇
53	需要家線	66	1	—	—	熱容量	19	19	不可 #1	—	—	—	—	※1
54	需要家線	66	1	—	—	熱容量	0	0	—	—	—	—	—	◇
55	電源線	66	1	—	—	熱容量	34	19	—	—	—	—	—	◇
56	北条線	66	2	250	125	熱容量	86	86	可	125	—	—	—	
57	北条亀岡線	66	1	39	39	熱容量	19	19	不可 #1	—	—	—	—	※1
58	北条亀岡線	66	1	39	39	熱容量	39	19	不可 #1	—	—	—	—	※1
59	需要家線	66	1	—	—	熱容量	12	12	—	—	—	—	—	◇
60	大洲八幡浜線	66	2	500	250	熱容量	155	0	可	250	有り	—	変3	
61	保内線	66	2	116	77	熱容量	16	0	可	39	有り	—	変3	
62	保内線	66	2	116	58	熱容量	58	0	可	58	有り	—	変3	
63	大久支線	66	2	102	67	熱容量	5	0	可	35	有り	—	変3	
64	大久支線	66	2	102	67	熱容量	5	0	可	35	有り	—	変3	
65	大久支線	66	2	84	55	熱容量	10	0	可	29	有り	—	変3	
66	大久支線	66	2	84	55	熱容量	11	0	可	29	有り	—	変3	
67	大久支線	66	2	84	55	熱容量	11	0	可	29	有り	—	変3	
68	大久支線	66	2	84	55	熱容量	20	0	可	29	有り	—	変3	
69	大久支線	66	2	84	55	熱容量	28	0	可	29	有り	—	変3	
70	亀浦支線	66	2	64	32	熱容量	32	0	可	32	有り	—	変3	※1
71	需要家線	66	1	—	—	熱容量	51	0	—	—	有り	—	変3	◇
72	電源線	66	1	—	—	熱容量	24	0	—	—	有り	—	変3	◇
73	電源線	66	1	—	—	熱容量	40	0	—	—	有り	—	変3	◇
74	電源線	66	1	—	—	熱容量	26	0	—	—	有り	—	変3	◇
75	電源線	66	1	—	—	熱容量	33	0	—	—	有り	—	変3	◇
76	電源線	66	1	—	—	熱容量	34	0	—	—	有り	—	変3	◇
77	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	99	0	可	125	有り	—	変3	
78	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	99	0	可	125	有り	—	変3	
79	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	115	0	可	125	有り	—	変3	
80	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	125	0	不可 #5	—	有り	—	変3	※1
81	三瓶支線	66	2	64	32	熱容量	32	0	可	32	有り	—	変3	
82	電源線	66	1	—	—	熱容量	24	0	—	—	有り	—	変3	◇
83	卯之町支線	66	2	64	32	熱容量	22	0	可	32	有り	—	変3	

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
84	大洲小田線	66	2	250	125	熱容量	70	0	可	125	有り	-	変3	
85	大洲小田線	66	2	98	49	熱容量	0	0	可	43	有り	-	変3	
86	大洲小田線	66	2	98	49	熱容量	1	0	可	49	有り	-	変3	※1
87	若宮支線	66	2	182	91	熱容量	91	0	可	91	有り	-	変3	
88	内子支線	66	2	94	47	熱容量	15	0	可	47	有り	-	変3	
89	横林線	66	1	24	24	熱容量	9	0	不可 #1	-	有り	-	変3	※1
90	横林線	66	1	42	42	熱容量	36	0	不可 #1	-	有り	-	変3	※1
92	惣川線	66	1	42	42	熱容量	40	0	不可 #1	-	有り	-	変3	※1
93	徳森支線	66	2	130	65	熱容量	65	0	可	65	有り	-	変3	※1
94	若宮支線	66	2	110	55	熱容量	55	0	可	55	有り	-	変3	
95	長浜線	66	2	158	79	熱容量	32	0	可	79	有り	-	変3	※1
96	長浜線	66	2	158	79	熱容量	76	0	可	79	有り	-	変3	※1
98	宇和島線	66	1	394	197	熱容量	83	0	可	197	有り	-	変4	
99	宇和島南線	66	1											
100	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	125	0	可	125	有り	-	変4	
101	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	123	0	可	125	有り	-	変4	
102	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	123	0	可	125	有り	-	変4	
103	新宇和島線	66	2	250	125	熱容量	125	0	不可 #5	-	有り	-	変4	※1
104	大浦支線	66	2	132	66	熱容量	66	0	可	66	有り	-	変4	
105	吉田支線	66	2	64	32	熱容量	32	0	不可 #1	-	有り	-	変4	※1
106	野村支線	66	2	84	42	熱容量	40	0	可	42	有り	-	変4	
107	御荘線	66	2	250	119	安定度限界	0	0	不可 #4	-	有り	-	変4	
108	御荘線	66	2	250	119	安定度限界	0	0	不可 #4	-	有り	-	変4	
109	御荘線	66	2	98	49	熱容量	0	0	不可 #4	-	有り	-	変4	
112	御荘線	66	2	98	49	熱容量	0	0	不可 #4	-	有り	-	変4	
113	御荘線	66	2	98	49	熱容量	37	0	不可 #4	-	有り	-	変4	
114	山際支線	66	2	140	70	安定度限界	70	0	不可 #4	-	有り	-	変4	
115	岩松支線	66	2	64	32	安定度限界	29	0	不可 #4	-	有り	-	変4	※1

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
117	電源線	66	1	—	—	熱容量	0	0	—	—	有り	-	変4	◇
119	電源線	66	1	—	—	熱容量	24	0	—	—	有り	-	変4	◇
120	出目線	66	2	250	125	熱容量	113	0	不可 #1	—	有り	-	変4	※1
121	広見中村線	66	2	394	124	安定度限界	0	0	不可 #4	—	有り	-	変4	
122	今治線	66	2	294	147	熱容量	121	0	可	147	有り	-	基送17	
123	今治線	66	2	294	147	熱容量	144	0	可	147	有り	-	基送17	
124	電源線	66	1	—	—	熱容量	5	0	—	—	有り	-	基送17	◇
125	桜井線	66	2	294	147	熱容量	116	0	可	147	有り	-	基送17	
126	桜井線	66	2	294	147	熱容量	142	0	可	147	有り	-	基送17	
127	桜井線	66	2	294	147	熱容量	142	0	可	147	有り	-	基送17	
128	桜井線	66	2	294	147	熱容量	147	0	可	147	有り	-	基送17	
129	桜井線	66	2	208	104	熱容量	104	0	可	104	有り	-	基送17	
130	桜井線	66	2	208	104	熱容量	104	0	可	104	有り	-	基送17	
131	電源線	66	1	—	—	熱容量	15	0	—	—	有り	-	基送17	◇
132	朝倉北支線	66	2	130	65	熱容量	59	0	可	65	有り	-	基送17	※1
133	電源線	66	1	—	—	熱容量	33	0	—	—	有り	-	基送17	◇
134	需要家線	66	2	—	—	熱容量	42	0	—	—	有り	-	基送17	◇
135	富田支線	66	2	64	32	熱容量	29	0	可	32	有り	-	基送17	
136	壬生川丹原線	66	2	158	79	熱容量	73	0	可	79	有り	-	基送17	
137	壬生川丹原線	66	2	158	79	熱容量	71	0	可	79	有り	-	基送17	
138	壬生川丹原線	66	2	158	79	熱容量	78	0	可	79	有り	-	基送17	
139	需要家線	66	2	—	—	熱容量	21	0	—	—	有り	-	基送17	◇
140	多賀支線	66	2	136	68	熱容量	68	0	可	68	有り	-	基送17	
141	需要家線	66	1	—	—	熱容量	32	0	—	—	有り	-	基送17	◇
142	需要家線	66	2	—	—	熱容量	77	0	—	—	有り	-	基送17	◇
143	浅川線	66	2	394	197	熱容量	197	0	可	197	有り	-	基送17	
144	浅川線	66	2	250	125	熱容量	125	0	可	125	有り	-	基送17	
145	波止浜支線	66	2	64	32	熱容量	31	0	可	32	有り	-	基送17	※1
146	泉川線	66	2	64	32	熱容量	32	0	不可 #1	—	有り	-	基送17	※1
147	枝堀線	66	2	250	125	熱容量	125	0	可	125	有り	-	基送17	※1
148	亀岡線	66	2	158	79	熱容量	72	0	可	79	有り	-	基送17	
149	亀岡線	66	2	158	79	熱容量	72	0	可	79	有り	-	基送17	
150	亀岡線	66	2	158	79	熱容量	72	0	可	79	有り	-	基送17	
151	亀岡線	66	2	158	79	熱容量	72	0	可	79	有り	-	基送17	

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
152	需要家線	66	2	—	—	熱容量	42	0	—	—	有り	-	基送17	◇
153	需要家線	66	1	—	—	熱容量	42	0	—	—	有り	-	基送17	◇
154	需要家線	66	1	—	—	熱容量	42	0	—	—	有り	-	基送17	◇
155	ひうち線	66	2	250	125	熱容量	104	0	可	125	有り	-	基送17	
156	ひうち線	66	2	250	125	熱容量	104	0	可	125	有り	-	基送17	
157	ひうち線	66	2	250	125	熱容量	104	0	可	125	有り	-	基送17	
158	ひうち線	66	2	250	125	熱容量	104	0	可	125	有り	-	基送17	
159	需要家線	66	1	—	—	熱容量	42	0	—	—	有り	-	基送17	◇
160	需要家線	66	1	—	—	熱容量	28	0	—	—	有り	-	基送17	◇
161	需要家線	66	1	—	—	熱容量	32	0	—	—	有り	-	基送17	◇
162	電源線	66	1	30	30	熱容量	16	0	不可 #1	—	有り	-	基送17	※1
163	需要家線	66	1	—	—	熱容量	53	0	—	—	有り	-	基送17	◇
164	電源線	66	1	—	—	熱容量	16	0	—	—	有り	-	基送17	◇
165	需要家線	66	2	—	—	熱容量	32	0	—	—	有り	-	基送17	◇
166	西条喜多川線	66	2	144	72	熱容量	82	0	可	72	有り	-	基送17	
167	西条喜多川線	66	2	144	72	熱容量	80	0	可	72	有り	-	基送17	
168	中野支線	66	2	84	42	熱容量	51	0	可	42	有り	-	基送17	
169	新居浜線	66	2	394	197	熱容量	141	32	可	197	-	-	-	
170	新居浜線	66	2	394	197	熱容量	151	32	可	197	-	-	-	
171	政枝支線	66	2	146	73	熱容量	74	32	可	73	-	-	-	
172	東雲線	66	2	116	58	熱容量	77	32	可	58	-	-	-	
173	土居線	66	2	250	125	熱容量	18	18	可	125	-	-	-	
174	土居線	66	2	116	58	熱容量	16	16	可	58	-	-	-	
175	土居線	66	2	72	36	熱容量	27	16	可	36	-	-	-	
176	多喜浜支線	66	2	158	79	熱容量	78	18	可	79	-	-	-	
177	電源線	66	2	—	—	熱容量	16	16	—	—	-	-	-	◇
178	喜多川新居浜線	66	2	130	65	熱容量	72	32	不可 #5	—	-	-	-	
179	電源線	66	1	32	32	熱容量	30	30	不可 #1	—	-	-	-	※1
180	三島連絡線	66	4	364	312	熱容量	53	34	可	52	-	-	-	※3
181	宇摩線	66	1	156	156	熱容量	75	34	不可 #1	—	-	-	-	※1
182	宇摩線	66	1	156	156	熱容量	75	34	不可 #1	—	-	-	-	※1
183	需要家線	66	1	—	—	熱容量	32	32	—	—	-	-	-	◇
184	川之江連絡線	66	2	250	125	熱容量	66	34	可	125	-	-	-	
185	川之江連絡線	66	2	250	125	熱容量	77	34	可	125	-	-	-	

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
186	電源線	66	2	64	32	熱容量	20	20	不可 #1	-	-	-	-	※1
187	電源線	66	2	-	-	熱容量	30	20	-	-	-	-	-	◇
188	新宮支線	66	1	32	32	熱容量	32	20	不可 #1	-	-	-	-	※1
189	川之江線	66	2	208	104	熱容量	99	34	不可 #5	-	-	-	-	
190	浜田線	66	2	250	125	熱容量	77	34	可	125	-	-	-	
191	需要家線	66	1	-	-	熱容量	49	34	-	-	-	-	-	◇
192	需要家線	66	1	-	-	熱容量	60	34	-	-	-	-	-	◇
193	寒川線	66	2	72	36	熱容量	40	34	可	36	-	-	-	
194	松柏線	66	1	32	32	熱容量	12	12	不可 #1	-	-	-	-	※1
195	大渡面一線	66	2	172	86	熱容量	18	0	可	86	-	-	-	
196	大渡面一線	66	2	134	67	熱容量	21	0	可	67	-	-	-	
197	大渡面一線	66	2	86	43	熱容量	31	0	可	43	-	-	-	
198	電源線	66	2	-	-	熱容量	18	0	-	-	-	-	-	◇
199	電源線	66	2	84	42	熱容量	7	0	可	42	-	-	-	
200	電源線	66	2	-	-	熱容量	9	0	-	-	-	-	-	◇
201	電源線	66	1	-	-	熱容量	30	0	-	-	-	-	-	◇
202	第五黒川線	66	1	42	42	熱容量	33	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
203	第五黒川線	66	1	42	42	熱容量	36	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
204	電源線	66	1	-	-	熱容量	28	0	-	-	-	-	-	◇
205	鈍川線	33	1	-	-	熱容量	8	0	-	-	有り	-	基送17	◇
206	中島線	22	1	7	7	熱容量	1	1	不可 #1	-	-	-	-	※1
207	中島線	22	1	7	7	熱容量	6	1	不可 #1	-	-	-	-	※1
208	興居島線	22	1	8	8	熱容量	8	8	不可 #1	-	-	-	-	※1
209	宇和海線	22	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #1	-	有り	-	変4	※1
210	一本松線	22	1	12	12	熱容量	4	0	不可 #1	-	有り	-	変4	※1
211	西土佐線	22	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #1	-	有り	-	変4	※1
212	需要家線	66	1	-	-	熱容量	34	0	-	-	有り	-	変3	◇
213	一本松第二線	22	1	12	12	熱容量	6	0	不可 #1	-	有り	-	変4	※1
214	需要家線	22	1	-	-	熱容量	8	0	-	-	有り	-	変3	◇
215	電源線	22	1	-	-	熱容量	5	5	-	-	-	-	-	◇

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
1	松山変電所	187	66	3	760	536	熱容量	525	525	可	224	-	-	-	※2
2	北松山変電所	187	66	2	570	313	熱容量	230	230	可	250	-	-	-	
3	大洲変電所	187	66	2	332	163	熱容量	0	0	可	151	有り	対象	-	
4	広見変電所	187	66	2	380	215	熱容量	0	0	可	30	有り	対象	-	
5	壬生川変電所	187	66	3	522	351	熱容量	294	0	可	171	有り	-	基送17	※2
		66	6	2	23	23	熱容量	23	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
6	西条火力変電所	187	66	2	285	151	熱容量	151	0	可	134	有り	-	基送17	
7	西条変電所	187	66	2	237	104	熱容量	32	32	可	133	-	-	-	
8	三島変電所	187	66	2	380	209	熱容量	34	34	可	171	-	-	-	
		187	66	1	142	142	熱容量	124	34	不可 #2	-	-	-	-	※1
9	番町変電所	66	6	2	57	57	熱容量	57	31	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	19	19	熱容量	19	19	不可 #3	-	-	-	-	
10	春日変電所	66	6	3	57	57	熱容量	66	31	不可 #3	-	-	-	-	
11	枝松変電所	66	6	2	57	57	熱容量	57	31	不可 #3	-	-	-	-	
12	石井変電所	66	6	3	76	76	熱容量	76	76	不可 #3	-	-	-	-	
13	八倉変電所	66	6	1	19	19	熱容量	18	18	不可 #3	-	-	-	-	
14	原町変電所	66	6	2	38	38	熱容量	25	25	不可 #3	-	-	-	-	
15	郡中変電所	66	6	3	47	47	熱容量	47	47	不可 #3	-	-	-	-	
16	松前変電所	66	6	2	38	38	熱容量	37	37	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	14	14	熱容量	14	14	不可 #3	-	-	-	-	
17	鷹子変電所	66	6	3	57	57	熱容量	55	55	不可 #3	-	-	-	-	
18	重信変電所	66	6	3	52	52	熱容量	45	45	不可 #3	-	-	-	-	
19	湯山変電所	66	6	1	9	9	熱容量	2	2	不可 #3	-	-	-	-	
20	道後変電所	66	6	2	47	47	熱容量	47	47	不可 #3	-	-	-	-	
21	平田変電所	66	6	2	57	57	熱容量	55	55	不可 #3	-	-	-	-	
22	三津変電所	66	6	2	23	23	熱容量	23	23	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	9	-	-	-	-	-	◇
23	衣山変電所	66	6	3	76	76	熱容量	76	76	不可 #3	-	-	-	-	
24	吉田浜変電所	66	6	3	47	47	熱容量	47	47	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	-	-	熱容量	2	2	-	-	-	-	-	◇

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
		25	勝岡変電所					66	6				2	33	
		66	22	1	9	9	熱容量	9	9	不可 #3	-	-	-	-	
26	竹原変電所	66	6	3	57	57	熱容量	57	57	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	2	-	-	熱容量	9	9	-	-	-	-	-	◇
27	柳井田変電所	66	6	3	52	52	熱容量	52	52	不可 #3	-	-	-	-	
28	北条変電所	66	6	2	33	33	熱容量	21	21	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	2	16	7	熱容量	2	2	不可 #3	-	-	-	-	
29	八幡浜変電所	66	6	3	42	42	熱容量	37	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
30	保内変電所	66	6	2	23	23	熱容量	23	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
31	亀浦変電所	66	6	2	21	21	熱容量	21	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
32	大久変電所	66	6	2	8	8	熱容量	1	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
33	三瓶変電所	66	6	2	16	16	熱容量	16	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
34	卯之町変電所	66	6	3	33	33	熱容量	23	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	0	-	-	有り	-	変3	◇
35	内子変電所	66	6	2	28	28	熱容量	27	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
36	小田変電所	66	6	2	14	14	熱容量	13	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
37	横林変電所	66	6	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
38	惣川変電所	66	6	1	2	2	熱容量	1	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
39	徳森変電所	66	6	1	14	14	熱容量	14	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
40	若宮変電所	66	6	3	47	47	熱容量	47	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
41	長浜変電所	66	6	2	23	23	熱容量	21	0	不可 #3	-	有り	-	変3	
42	宇和島変電所	66	6	2	23	23	熱容量	23	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
43	大浦変電所	66	6	2	38	38	熱容量	38	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
44	吉田変電所	66	6	2	14	14	熱容量	14	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
45	野村変電所	66	6	2	19	19	熱容量	17	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
46	山際変電所	66	6	2	38	38	熱容量	37	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
47	岩松変電所	66	6	2	16	16	熱容量	13	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
		66	22	1	4	4	熱容量	4	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
48	御荘変電所	66	6	3	42	42	熱容量	39	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
		66	22	1	9	9	熱容量	1	0	不可 #3	-	有り	-	変4	

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
49	出目変電所	66	6	2	28	28	熱容量	17	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
		66	22	1	4	4	熱容量	4	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
50	今治変電所	66	6	2	38	38	熱容量	38	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	33	1	-	-	熱容量	0	0	-	-	有り	-	基送17	◇
51	朝倉北変電所	66	6	1	9	9	熱容量	4	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
52	富田変電所	66	6	3	38	38	熱容量	35	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
53	多賀変電所	66	6	2	33	33	熱容量	24	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	0	-	-	有り	-	基送17	◇
54	丹原変電所	66	6	2	33	33	熱容量	25	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	0	-	-	有り	-	基送17	◇
55	浅川変電所	66	6	2	38	38	熱容量	38	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
56	波止浜変電所	66	6	3	23	23	熱容量	30	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	2	28	19	熱容量	14	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
57	泉川変電所	66	6	2	28	28	熱容量	28	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
58	枝堀変電所	66	6	2	33	33	熱容量	33	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	-	-	熱容量	14	0	-	-	有り	-	基送17	◇
59	亀岡変電所	66	6	2	28	28	熱容量	21	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
60	鈍川変電所	33	6	1	4	4	熱容量	0	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
61	ひうち変電所	66	6	3	47	47	熱容量	35	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
62	喜多川変電所	66	6	2	28	28	熱容量	25	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	0	-	-	有り	-	基送17	◇
63	中野変電所	66	6	2	33	33	熱容量	28	0	不可 #3	-	有り	-	基送17	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	0	-	-	有り	-	基送17	◇
64	政枝変電所	66	6	3	47	47	熱容量	35	32	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	-	-	熱容量	14	14	-	-	-	-	-	◇
65	新居浜変電所	66	6	3	47	47	熱容量	44	32	不可 #3	-	-	-	-	
66	東雲変電所	66	6	3	47	47	熱容量	47	32	不可 #3	-	-	-	-	

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
67	多喜浜変電所	66	6	2	33	33	熱容量	18	18	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	9	-	-	-	-	-	◇
68	土居変電所	66	6	2	28	28	熱容量	15	15	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	2	15	6	熱容量	5	5	不可 #3	-	-	-	-	
69	発電所	66	6	1	2	2	熱容量	0	0	不可 #3	-	-	-	-	
70	朝日町変電所	66	6	3	47	47	熱容量	39	34	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	-	-	熱容量	9	9	-	-	-	-	-	◇
71	川之江変電所	66	6	3	47	47	熱容量	47	34	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	14	14	熱容量	14	14	不可 #3	-	-	-	-	
72	新宮変電所	66	6	1	4	4	熱容量	4	4	不可 #3	-	-	-	-	
73	浜田変電所	66	6	3	57	57	熱容量	57	34	不可 #3	-	-	-	-	
74	寒川変電所	66	6	3	42	42	熱容量	42	34	不可 #3	-	-	-	-	
75	柳瀬変電所	66	6	1	4	4	熱容量	4	4	不可 #3	-	-	-	-	
		66	22	1	-	-	熱容量	6	6	-	-	-	-	-	◇
76	面河第一変電所	66	6	1	7	7	熱容量	3	0	不可 #3	-	-	-	-	
77	第五黒川変電所	66	6	1	1	1	熱容量	1	0	不可 #3	-	-	-	-	
78	中島配電塔	22	6	2	5	5	熱容量	1	1	不可 #3	-	-	-	-	
79	興居島配電塔	22	6	1	9	9	熱容量	8	8	不可 #3	-	-	-	-	
80	宇和海配電塔	22	6	1	4	4	熱容量	0	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
81	一本松配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	0	0	不可 #3	-	有り	-	変4	
82	一本松第二配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	0	0	不可 #3	-	有り	-	変4	